

令和1年12月23日(月)

生徒の皆さん、おはようございます。校長の野澤です。第2学期の終業に当たり、時間を頂戴してお話ししようと思います。

今学期も嬉しいことがたくさんありましたが、あえて3つ選んで申し上げます。

まず、青藍祭文化の部、体育の部が大成功に終わったことです。特に文化の部の一般公開では、雨模様の中を多くのお客様においでいただくことができました。これは様々な場面で活動・活躍する生徒諸君が、意図することなく自然と学校の好感度を高め、地域の方々や中学生の皆さんの信頼を得ているからにはほかなりません。

次に、今年が2回目の試みとなる、宮古島への修学旅行を実施できたことです。沖縄本島をはるかに凌ぐ海の美しさは、白井高校以外の修学旅行では体験できないものです。2年生の皆さんに、それを見ていただけたことは本当に良かったと思います。1年生諸君は、どうぞ来年の秋に御期待ください。

そして3つ目は、10月29日のPTA臨時総会で、すべての特別教室へのエアコン導入が可決され、来年夏からの稼働に向けて動き始めたことです。学習環境を改善したいという学校側の思いを、保護者の皆さんが受け止めてくださり、昨年と同額の費用を負担していただけるおかげです。今日、家に帰ったら、生徒の皆さんからも改めてお礼を申し上げます。

反対に残念だったことを1つお話しします。昨日、生徒指導主事の先生から御講話があったとおり、本校の生徒指導の3本柱は、「時間を守る」、「身なりを正す」、そして「挨拶をする」です。朝の登校時間帯には、多くの先生方が昇降口周辺や裏門で挨拶の声掛けをしています。私も、正門で同じことをしていますが、なかなか大きな声で挨拶が返ってきません。私の「おはようございます。」という言葉に、せめてははっきり聞こえるくらいの返事が欲しい、と思うのは贅沢でしょうか。中には黙ってコクリと首を曲げるだけの人、横目でちらりと視線を送るだけの人もおり、あまつさえ、完全に無視してとおろ過ぎる生徒もいます。

挨拶は、人として最も基本的なコミュニケーションであり、マナーだと思います。挨拶をしないのは、相手に背を向けることと同じです。「背と背を向い合せると、お互いの表情を隔てる距離は地球一回り分」という例えを聞いたことがありますが、心の距離が4万キロも離れていたのでは分かり合えるはずもなく、ましてや「何か力になりたい。」などとは思えないでしょう。挨拶をしないということは、自分の理解者や応援団を失う近道ではありませんか。

学期末から、急速にインフルエンザが流行し始めました。どうぞ健康に気を付けて、皆さん、良いお年をお迎えください。終わります。